

2016.6.24

28年度 第1回 PTA 家庭教育学級

子どもの気になる行動と親のかかわり
～子育ては「いい 加減」～

校長 稲葉 実

○臨床心理学への関心

○広がる視野

○教育の間接性

○多様性・調和・豊かさ

○相対性の自覚

○クリエイティブ・イルネス

○その他 こぼれ話

資料②

校長会挨拶
稲葉 実 先生>

<世田谷区立小学校長会 29年度会長 山崎小学校 校長

皆さん、おはようございます。まずは、鈴木会長をはじめ役員の皆さま、会員の皆さま、本当に1年間お疲れ様でした。そして、お世話になりました。ありがとうございました。小学校長会を代表してご挨拶をさせていただきます。

今年度の小学校長会のテーマは「教育の本質を問い続ける ～学び合い 助け合う 校長会～」になりました。1年間「教育とは何か」を校長同士研鑽し深め合っていきたいと思っています。

そこに関連して、少し「教育とは何か」についてお話したいと思います。ご承知のように学校教育は、意図的、計画的に行います。直接性を狙っていると言っていると思います。でも、実は非意図的、計画的でない関わりもまた子どもたちの人間形成に多大な影響を与えていることを忘れてはいけないと思います。それが「教育の間接性」です

日経新聞に「私の履歴書」という1956年(昭和31年)から長い間掲載されているコーナーがあります。1人の著名人について1か月くらいかけ、ご自身で自分の半生を語る記事です。1年くらい前に「小椋 佳」さんが連載されました。私のとても大好きな方です。東大法学部を卒業し、エリート銀行マンという顔を持ちながら、音楽活動をされていました。私も彼が小学3年生の時に、担任の先生がお休みされた時、隣のクラスの先生が1日小椋さんの教室にきてくれたそうです。音楽、特に歌がとても大好きな先生で、1日中子どもたちに歌を歌わせていました。その時、先生が小椋さんの歌を聴きとても感動して、「こうじ君(小椋さんの本名)あなた、本当に歌がうまいわね」とほめてくれたそうです。そのことが、小椋さんが音楽を始める非常に大きなきっかけになったと「私の履歴書」の中に書いてありました。その先生は、有名な音楽家を育てようと思っていたわけではなく、ただその1日を子どもたちが一緒に楽しんでくれれば、と思っていただけだと思うのです。意図的ではないけれど、そのことが小椋さんにとってはとても大きなきっかけになりました。

皆さんもご自身の中でこのような経験を1つや2つされているのではないのでしょうか。これが「教育の間接性」です。決して忘れてはいけないと思います。

PTA活動は、3つの「ため」があると思います。もちろん「子どものため」そして「学校のため」最後は「ご自身のため」。PTA活動を通して、多くの方々と知り合い自分を深める、いろいろな知識を吸収する、自分を広げていく、ご自身の向上のため、高めていく。直接的ではないけれど、お母さんが、またはお父さんが、一生懸命にPTA活動をしている姿を見て子どもたちは育っていく。ここにも教育の間接性があると思います。子どもたちに「このようになってほしい」と直接的な願いを持って活動していることではないものの、親の背中をみて子どもは育っていくのです。こういうことも、大切だと思います。

今年度も教育活動の充実を、PTAや29年度の世小Pの皆さまと共に展開していきたいと思っています。また、「教育とは何か」を改めて共に考えていきたいと思っています。どうぞ1年間よろしく願いいたします。

玉川中学校 卒業式祝辞より抜粋

今日のテーマは「和」です。

あらためて説明の必要もないかと思いますが、

①気が合う 仲良くする という意味で、

親和 とか 和解 などと使います

②そしてもちろん平和の和

講和条約というときの「講和」の和 戦国時代なら「和議」、
というときの和。なかよくする、またそのような情態を和。とい
います。

③おだやか なごやか という意味で 温和とか柔和というよう
にも使います。

④それから、日本あるいは日本語として、和食 英和辞典とか
漢和辞典などどに使われます。和洋折衷などといういいかたも
あります。

⑤足し算の答えも和 音楽の合成音は和音
このように多様に使われています。

そこで、なんと読みますか「和える」

そう「あえる」と読みます

和え物は、日本の伝統的な料理です。ほうれん草のごま和えな
ど一番ポピュラーでしょうか

辛子和えとか酢味噌和えってありますね。みなさんのお家の
食卓にもしばしば登場していますね。

単純に混ぜるとは違うのです。そこに使われるひとつひとつの
食材の良さがいかされ、しかも、新しい食感 風味が醸し出され
るんですね。

音楽でいえばプラスバンドやオーケストラでしょうか。特色あ
るひとつひとつの楽器が指揮者のリードで、美しいハーモニーを
奏でる様子とよくにています。

私は今、この「調和」ということばに強く注目しています。

この1年間、玉川中学校の各学級、きつと美しい調和を保ち、
響き合い一人一人が輝いていたことでしょう。そしてこれから、皆
さんが進学する高校で、また新たな出会いがあり、仲間と共に調
和あるクラスを作り、その一員として、高めあい深めあっていく
ことでしょう

さて、少し話は飛びますが、未だに世界中から戦争がなくなり
ません。テロがなくなりません。それは正義と悪の対立ではあり
ません。実はそれぞれの正義と正義の対立なんです。

多様な民族、多様な宗教 多様な言語、多様な文化が世界には
あってもいいと思えます。ところが残念ながらその多様性は、必ずし
も調和を保っているとは言えません。

他の生き物との調和とこのことを考えても、心配なことはたく
さんあります。あらゆる種類の動物や植物が絶滅していきま
す。温暖化や森林の砂漠化など、地球環境の悪化も、人類が実はそ
の調和を乱しているのだと言ってもいいでしょう

調和ある多様性の創造が大切ということ、ある大学の先生が

おっしゃていました、本当にその通りだろうと思います。
では、美しいハート、二一をどう取り戻したらいいのでしょうか
ご承知のよう、私たちの日本はかつて大きな和と書いて大
和の国と言ってきた。グローバル化が進む社会において、
その日本人である私たちが、それが、リーダーシップをとって調和あ
る多様性を創造していきたいと、思うのです。
また、目を自分自身に向けてください。宇宙よりも広いものは、
それは私たちの心です。決して大げさな表現ではなくて一人一人
その人間の命は、そのくらいの無限の可能性をもっている、と私は
思っています。
多様なひろがり、とふかみを有する人間の心です。
夢をもち追求し、ゆく自分、社会のために貢献できる人間をめざ
そうと、自ら、常に学び、自分を高めていこうと努力する自分、
そ友達が困っている、と居ても立ってもいられなくなる自分、
そのよう、な肯定的に受け入れられる自分と一方で、でもどうし
ても受け入れがたい、嫌いな自分もあるでしょう
少しのことで、すぐに腹をたててしまう自分、せっかちな自分、
飽きっぽい自分、嫉妬深い自分など。
時には、その自分のマイナ面ばかりが気になって、気分が落ち
込む、けれども、短所も長所も、実に多様に展開する自分の内面の現
象は、本当は全て価値ある皆さんの可能性なのです。宝物なので
す。
「勇者とは臆病と戦う人」と言ったのは、反アパルトヘイトに
身を投じ、27年間の獄中生活に耐え、南アフリカ共和国大統領
に成り、そしてノーベル平和賞も受賞した、あのネルソンマンデ
ラ氏です。強さと弱さは表裏一体
また、「本当に強い人は繊細な内面を持っている。必ず持って
いる。頑丈な体を持っている人よりも繊細な神経の持ち主が、収
容所を生き抜いた。」
これは、世界的な大ベストセラー「夜と霧」の作者であり、オ
ーストリアの精神科のお医者さんで、第二次世界大戦時ナチスの
ために、アウシュビッツを始めとしたユダヤ人迫害のための収容
所生活を耐え抜いた、ピクトール・フランクルのことばです。
日本の若者は、自己肯定感とか自尊心というものが低いと言
われ、多様な自分自身の内面に調和が保たれてきたときに、
それは高まっていくだろうと思うのです。
調和ある多様性という言葉、を心にとどめ、自分以外の他者との
調和、そして自分自身の内面の調和、二つの調和ということ、を意
識して、ますます豊かな人間性を自ら育ててほしいと願っ
ています。